

No.5 駅周辺 まちづくりニュース

このまち、もっと好きになる。

Vol.3

発行日：令和8年6月

モノレールの延伸を見据えた（仮称）No.5 駅（以下「No.5 駅」）周辺のまちづくりを検討するため、地域みなさまと武蔵村山市が協力し、協議会を実施しています。

このニュースでは協議会の様子をお届けします。

第3回協議会を開催しました！

はじめに ...

令和8年5月23日（土）に第3回 No.5 駅周辺まちづくり協議会を開催し、活発な意見交換が行われました。

今回は「土地利用・景観」と「道路・交通ネットワーク」をテーマとして協議を行いました。



まち歩き

意見交換の前にみなさまと No.5 駅周辺を歩きながら、土地利用（建物）や景観、道路の将来イメージについて確認しました。

実際に現地を見て回ることで新たな気づきや発見がありました。



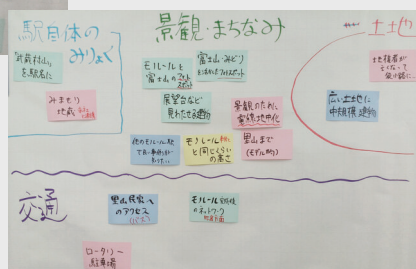
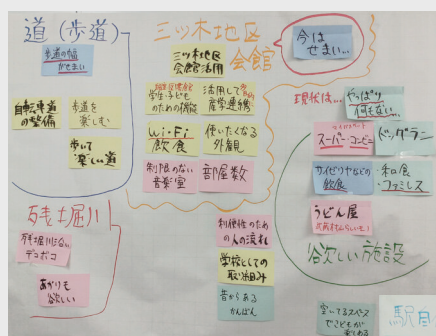
意見交換

「土地利用・景観」と 「道路・交通ネットワーク」について

土地利用・景観については、将来の土地活用のイメージや、モノレールと富士山の景観を生かすための展望台やフォトスポットについての意見が出されました。

道路・交通ネットワークについては、歩道の狭さや自転車道の整備、利便性向上のための駅へのアクセスについての意見が出されました。

また、三ツ木地区会館の活用方法についての意見も多く出されました。





土地利用・景観と 道路・交通ネットワーク

土地利用について

- ・歩いてみると小さな土地が多く、高い建物が建つイメージがわからなかった。
- ・空き地が多いため、学生や子どもが楽しめる場所になるとにぎやかになると思う。
- ・新しい住宅が建っており、これから人が増える要素があるため、飲食店やスーパー等、生活のための施設が充実するとよい。
- ・ゆっくりできる飲食店がないのでファミリーレストランがあるとよい。

景観について

- ・まち全体が計画的に開発されるとよい。
- ・駅前の建物の高さのある程度許容し、展望台等を設置することで、辺りを見渡すことができるとうい。
- ・モノレールと富士山を同じ高さで写真を撮ることができる場所があるとよい。
- ・利便性が高くても視覚的に落ち着かないような景観は避けたい。
- ・モノレールと富士山が見える高さであれば武蔵村山市らしさが残るのではないかな。

道路・交通ネットワーク

- ・歩行者と自転車の両方が通るには現状の歩道では狭い。
- ・太陽と緑を感じることができる、歩いていて楽しい歩道や自転車道を整備してほしい。
- ・残堀川沿いの遊歩道を綺麗に整備し、夜間も歩けるように街灯があるとよい。
- ・利便性向上のため、人や車の流れを今後どのようにしていくかが課題であると感じた。
- ・里山民家へのアクセスが良くなるとよい。
- ・交差点の改良計画があると聞いたため、事故が減ることを期待したい。

その他のご意見

- ・三ツ木地区会館を活用し、地域の核となるような施設になるとよい。
- ・三ツ木地区会館の規模や設備が不足しているため、充実するとよい。
- ・歴史・文化の活用や交通事故防止の観点から、各駅に見守り地蔵を設置するとよい。
- ・里山民家に抜ける道をモデルケースとする等、重要な箇所を無電柱化すると写真スポットにもなるとよい。
- ・古い看板を活用できるとよい。
- ・駅へ車で来た人が待機できるようなロータリーがほしい。

📍 次回とこれからの流れ

次回「第4回協議会」

日時	令和8年6月27日 午前9時30分から (2時間程度)
場所	武蔵村山市役所 本庁舎4階 中部地区会館 401大集会室
テーマ	道路・交通ネットワーク その他

01

最初

キックオフ

- ・自己紹介
- ・趣旨説明
- ・意見交換
- ・第1回協議会

次回！

02

中間

テーマ別協議 【テーマ】

- ◆土地利用
- ◆道路・交通ネットワーク
- ◆景観形成 等
- ・第2回協議会
- ・第3回協議会
- ・第4回協議会

03

終わり

提言書の 検討

- ・協議結果の
取りまとめ
- ・第5回協議会
- ・第6回協議会

問合わせ先 武蔵村山市 都市整備部 沿線まちづくり課 沿線まちづくり計画係

TEL:042-565-1111 (内線 279)

ホームページ <https://www.city.musashimurayama.lg.jp/shisei/shisaku/machizukuri/1002063/1017864/1022166.html>

